

電気回路学III

第1回：三相交流の基礎

第1回：三相交流の基礎

- 三相交流の定義, メリット
- 三相交流の発生
- 三相交流の表示法 〜三角関数, フェーザ, 複素数〜
- 回路結線
 - Y結線とΔ結線
- 用語
 - 相, 線間, 中性点
- 結線方法と電圧の関係, 電流の関係

配電系統の実際



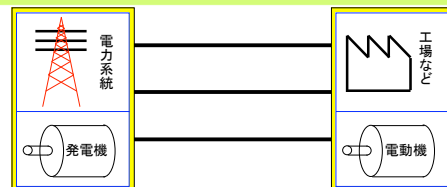
配電系統の実際



交流電動機（誘導電動機）



三相交流回路とは・・・



メリット

- 単相2線式と比較すると同一電圧, 電流の場合, 電線1本当たりの送電電力は1.15倍
→ 装置(電動機)の小型化 or 配線径小
- 単相交流を得ることもできる
- 回転磁界が容易に得られる → 交流電動機駆動に適している

7 / 33

三相交流回路とは・・・

電力系統
発電機
工場など
電動機

線間電圧 v_{ab}, v_{bc}, v_{ca}
相電流 i_a, i_b, i_c

- ・周波数: 等しい
- ・位相差: それぞれ $2\pi/3$
(大きさも等しい: "対称"
そうでない: "非対称")
- ・周波数: 等しい
- ・位相差: それぞれ $2\pi/3$
(大きさも等しい: "平衡"
そうでない: "不平衡")

※対称: 電源電圧が対称で三相とも同波形. 平衡: 負荷電流が対称で三相とも同波形

8 / 33

単相起電力の発生

回転角速度 ω
磁束 ϕ
巻数 n
鎖交磁束 $\lambda = n\phi$
電圧 e_a

電圧 e_a vs 位相 θ

9 / 33

電磁気学の復習 ～電磁誘導～

- ・ファラデーの法則 (起電力の大きさ, 1931年)
一つの回路に電磁誘導によって生じる起電力は,
その回路に鎖交する磁束数の時間変化量に比例
- ・レンツの法則 (起電力の向き, 1934年)
電磁誘導によって生じる起電力は, 磁束変化を妨
げる電流を生じる向きに発生
- ・数式化 (ノイマン)
 n 回巻きコイル: $e = -n \frac{d\Phi_m}{dt}$

10 / 33

電磁気学の復習 ～自己誘導～

- ・空心コイル: 鉄心なし
⇒ 電流 i と 磁束 ϕ は比例
- 磁束鎖交数 (鎖交磁束数)
 $n\phi = \lambda = Li$
- 自己インダクタンス (単位: [H], ヘンリー)
 $v_L = n \frac{d\Phi_m}{dt} = L \frac{di}{dt}$

起電力は, 磁束変化を妨げる電流を生じる向き

電磁誘導に関する一連の法則 (ファラデーの法則, レンツの法則, ノイマンの数式) は,
コイルの巻き方向, 電流 (磁束) の正方向, 電圧の正方向を定義してはじめて説明がつく

11 / 33

電気回路の復習 ～電圧方程式～

- ・キルヒホッフの電圧則より
電圧方程式は
 $E = Ri + L \frac{di}{dt}$

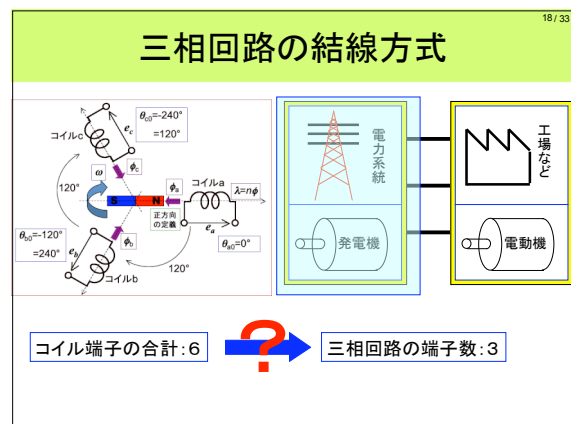
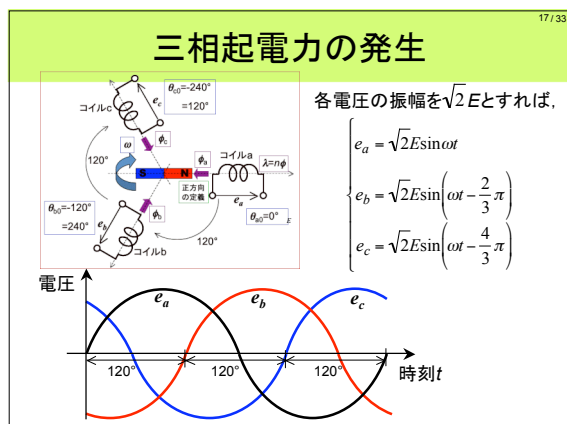
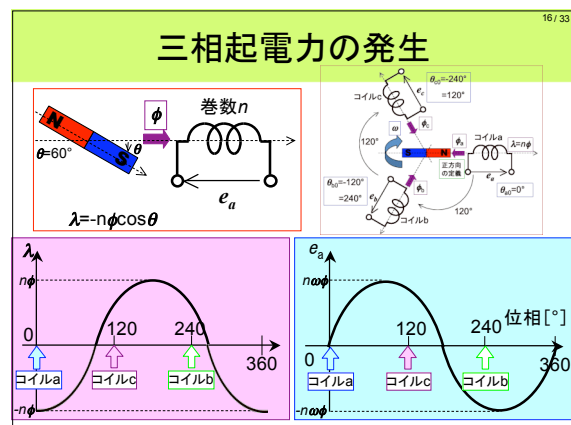
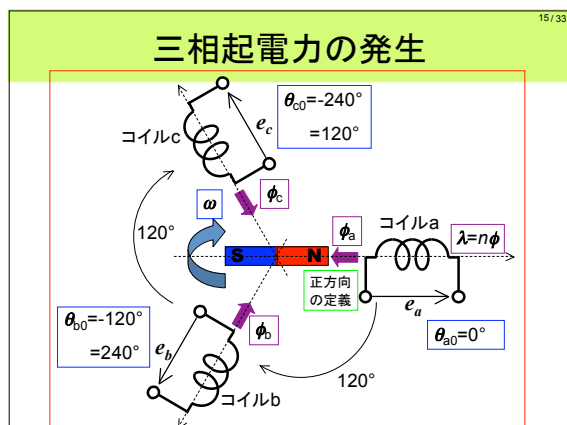
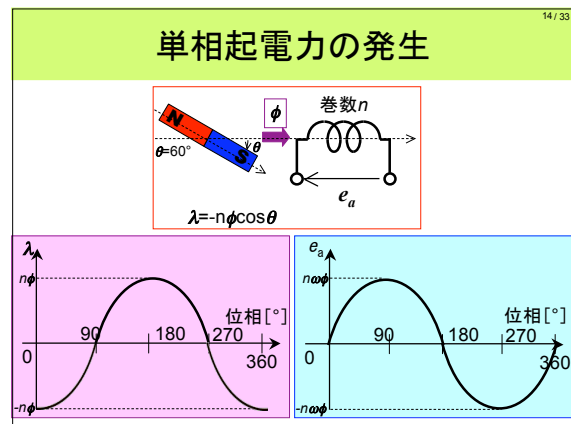
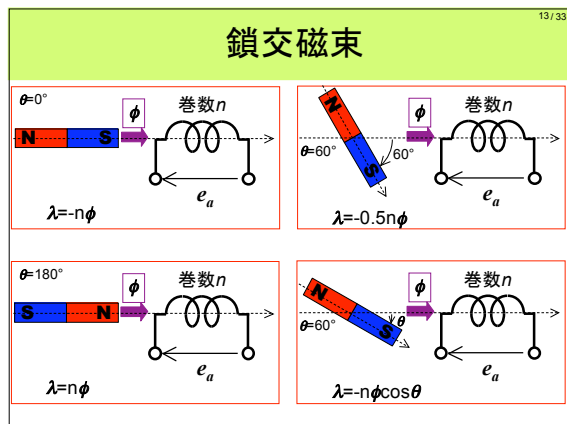
コイルの電流 (磁束) が減少 ⇒ 負電圧
増加 ⇒ 正電圧

12 / 33

単相起電力の発生

回転角速度 ω
磁束 ϕ
巻数 n
鎖交磁束 $\lambda = n\phi$
電圧 e_a

電圧 e_a vs 位相 θ



19 / 33

三相起電力の結線方式

$$e_a = \sqrt{2}E\sin\omega t$$

$$e_b = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$e_c = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi\right)$$

とする。

20 / 33

三相起電力の結線 ～Y結線～

中性点
 e_a, e_b, e_c : 相電圧
 v_{ab}, v_{bc}, v_{ca} : 線間電圧
 ※ 相電圧 ≠ 線間電圧

$$e_a = \sqrt{2}E\sin\omega t$$

$$e_b = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$e_c = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi\right)$$

大きさ: $\sqrt{3}$ 倍
 位相: $\pi/6$ 進み

$$v_{ab} = e_a - e_b$$

$$= \sqrt{2}E\sin\omega t - \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$= \sqrt{6}E\sin\left(\omega t + \frac{\pi}{6}\right)$$

$$v_{bc} = \sqrt{6}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi + \frac{\pi}{6}\right)$$

$$v_{ca} = \sqrt{6}E\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi + \frac{\pi}{6}\right)$$

21 / 33

三相起電力の結線 ～Δ結線～

$$e_a = v_{ab} = \sqrt{2}E\sin\omega t$$

$$e_b = v_{bc} = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$e_c = v_{ca} = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi\right)$$

e_a, e_b, e_c : 相電圧
 v_{ab}, v_{bc}, v_{ca} : 線間電圧
 ※ 相電圧 = 線間電圧

22 / 33

三相起電力の結線 ～Δ結線とY結線の比較～

$$v_{ab} = \sqrt{2}E\sin\omega t$$

$$v_{bc} = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$v_{ca} = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi\right)$$

大きさは $\sqrt{3}$ 倍
 位相差は $\frac{\pi}{6}$

$$v_{ab} = \sqrt{6}E\sin\left(\omega t + \frac{\pi}{6}\right)$$

$$v_{bc} = \sqrt{6}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi + \frac{\pi}{6}\right)$$

$$v_{ca} = \sqrt{6}E\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi + \frac{\pi}{6}\right)$$

23 / 33

三相起電力の結線 ～Δ結線の相電流～

この電流は相電流
 この電流は線電流

起電力の場合と逆!!

相電流は

$$i_{ab} = \sqrt{2}I\sin\omega t$$

$$i_{bc} = \sqrt{2}I\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$i_{ca} = \sqrt{2}I\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi\right)$$

大きさは $\sqrt{3}$ 倍
 位相差は $\frac{\pi}{6}$

$$i_a = i_{ab} - i_{ca} = \sqrt{6}I\sin\left(\omega t - \frac{\pi}{6}\right)$$

$$i_b = \sqrt{6}I\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi - \frac{\pi}{6}\right)$$

$$i_c = \sqrt{6}I\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi - \frac{\pi}{6}\right)$$

24 / 33

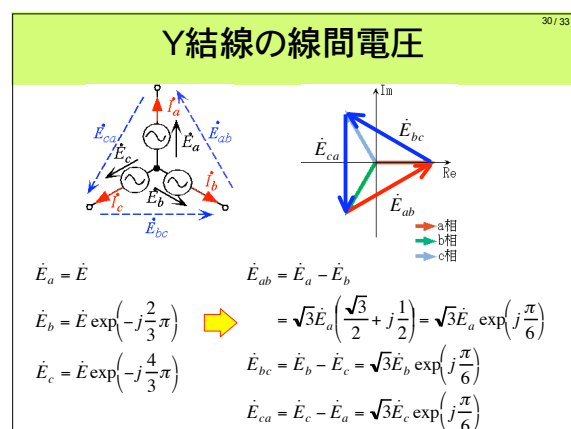
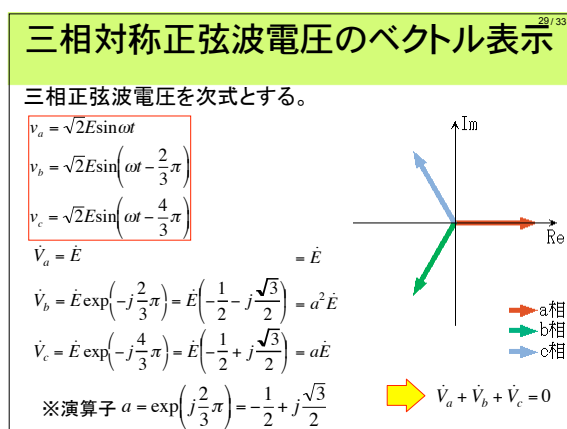
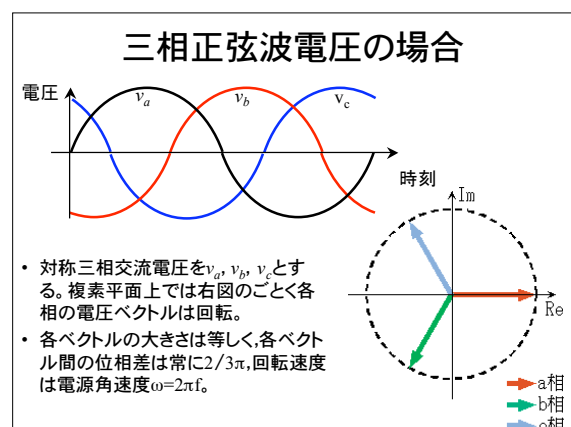
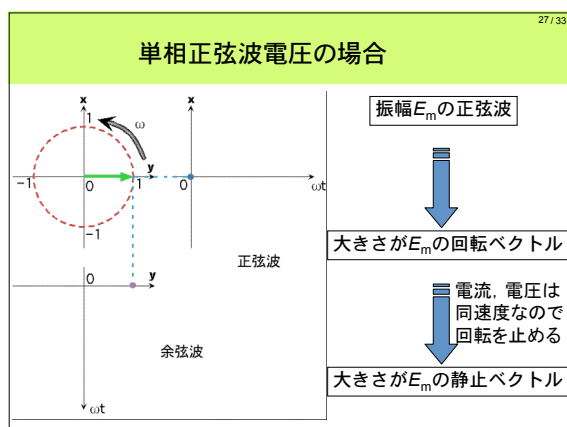
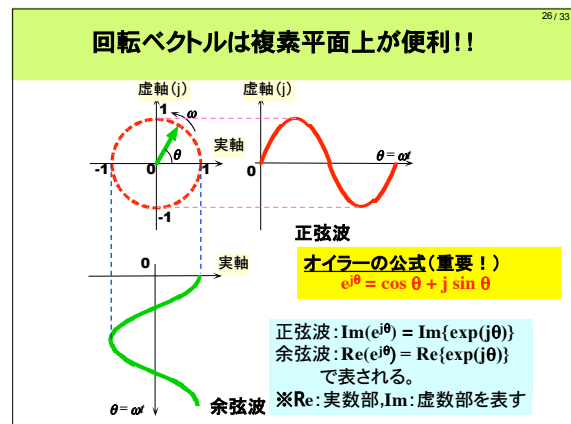
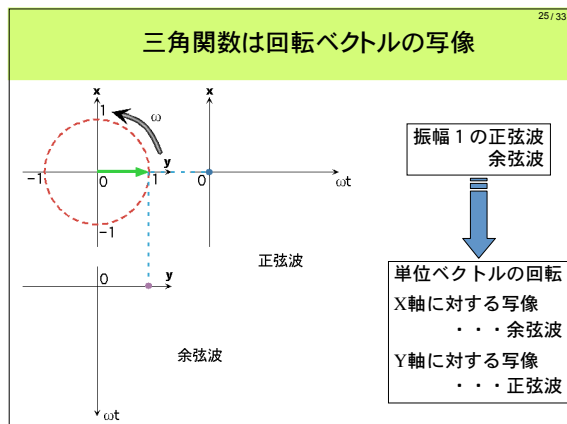
記号法の適用

$$v_a = \sqrt{2}E\sin\omega t$$

$$v_b = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{2}{3}\pi\right)$$

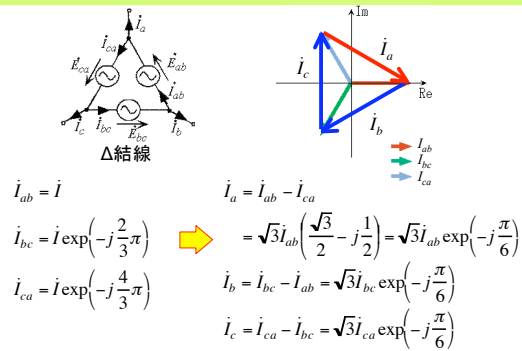
$$v_c = \sqrt{2}E\sin\left(\omega t - \frac{4}{3}\pi\right)$$

記号法では?



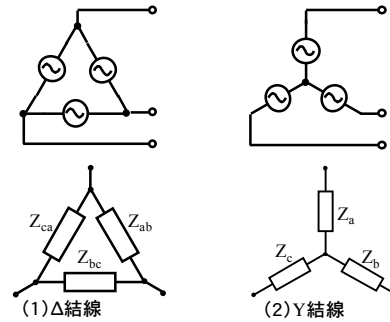
Δ結線の線電流

31 / 33



負荷の結線 ～Δ結線とY結線～

32 / 33



問題

33 / 33

- 対称三相交流電圧は各相電圧の和がゼロである。これを示せ。
- 対称三相交流電圧は各線間電圧の和もゼロである。これを示せ。
- Y結線された三相交流電圧源の線間電圧の実効値は200Vであった。相電圧の実効値および振幅はいくらか。
- 三相交流発電機の回転数が、発電電圧の周波数に比例することを示せ。